実施
 令和6年 1月 9日 (17:00 ~18:00)

メンバー 16人

1. 初期支援(はじめのかかわり)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
前回の課題について取り組めましたか?	4人	12人	人	人	16人

前回の改善計画

- ・職員は通所利用者と一日一回は挨拶、会話を行う。
- ・ミーティングに参加できない職員もミーティング記録を確認し変更等に対応できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・通所利用者に対して挨拶や声かけを行うことを心掛けることで、利用者が安心して施設を利用できるよう配慮していくことができた。
- ・ミーティングの記録を確認し、利用者の情報を職員間で共有し、ケアに当たることができた。

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄		なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	本人の情報やニーズについて、利用開始前 にミーティング等を通じて共有しています か?	4	1 1	1		1 6
2	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、 まず必要としている支援ができています か?	3	1 1	1	1	1 6
3	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	1 1	2		1 6
4	本人を支えるために、家族・介護者の不安を 受け止め、関係づくりのための配慮をして いますか?	3	9	4		1 6

できている点

- ・挨拶、会話は、笑顔で一人ひとりの利用者さんにできている。(3)
- ・早く慣れていただけるように声かけ等ができている。(3)
- ・朝礼、ミーティングに参加し、情報を共有できている。・ミーティングの記録も目を通している。(5)
- ・本人の要望等聞き、なるべくどの要望に答えるよう気を付けていると思う (ご家族様の事も同様)。
- ・申し送り内容を確認し、理解できない部分は職員に聞き、理解するようにしている。
- ・利用開始時に必要な支援内容を聞き取り、個人ファイルにまとめる。
- ・ミーティング記録を確認し、変更等に対応できるようにしている。

できていない点

- ・ミーティングの記録は確認後のチェックができていない、または、確認していない。
- ・口頭で伝えるだけで申し送りノートなどに記入しておらず、出勤していなかった職員へ伝わっていなかった。 開始時に共有できていなかった。
- ・言葉が足らないことがある。 ・業務上で家族との関りがあまりない。(3)
- ・「仕事の流れを先に覚えないと」と思ってしまい、本人の情報を確認しなかったことがあった。
- ・本人や家族・介護者が必要としている部分を把握できていない。
- ・利用者との関係づくりができていない。

次回までの具体的な改善計画

- ・申し送りファイル、ミーティング記録を確実に確認し、確認後は印鑑を押し漏れがないようにする。
- ・本人が必要としている支援が提供できるよう、個別ファイルを継続的に確認する。

2. 「~したい」の実現(自己実現の尊重)

実施日	令和6年	1月	9日(17:00	~18:00)
メンバー			16人		

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	3人	5人	7人	1人	16人

前回の改善計画

・利用開始前に全職員がサービス計画に目を通し目標を確認する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・サービス計画に目を通し、目標を確認することを心掛けることは、できている。
- ・利用者全員の目標を把握することは、できていないが、目標を理解し、目標にそって支援が行えた利用 者もいる。

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	5	8	2	1 6
2	本人の当面の目標 「~したい」 がわかっていますか?	3	3	8	2	1 6
3	本人の当面の目標「~したい」を目指した 日々のかかわりができていますか?	2	4	9	1	1 6
4	実践した(かかわった)内容をミーティング で発言し、振り返り、次の対応に活かせてい ますか?	2	5	7	2	1 6

できている点

- ・特定の利用者の分かりやすい目標、~したいに対しては寄り添うことができている。
- ・自分の関わったことだけでなく、他の職員が実践したことがミーティングで共有でき、自分の次の時の 対応に活かせている。 ・なんとなく、目指していることが分かる方に対しては、出来ている。
- ・利用者様と会話する中で、ご自分が出来ること、ここまではしたいと思われていることを聞き取るようにしている。 ・サービス計画に目を通し、目標を確認している。
- ・本人の「~したい」ではなく、家族、本人の「~したい」の支援はできているのではないか。

できていない点

- ・本人の「~したい」に寄り添えきれていないことがある。・ミーティングで発言できていない。
- ・一日の業務の流れを優先してしまうことがある。(2)・サービス計画を見た事がない。
- ・一人ひとりの個人の目標を把握できていない。本人の目標より、目先の介助などを行っていた。
- ・サービス計画には、目を通しているが、利用者の目標にそった援助ができているか自信がない。
- ・サービス計画を読んでいても、内容を覚えていないことが多い。
- ・本人の思いと家族の思いが違う場合がある。本人の思い通りには出来ていない。難しい場合がある。
- ・家での生活を支えていくために家族の代わりに支援を行うことが多く、本人は"まだできる"という思いがあるが、家族の思いを中心に支援することが多い。

次回までの具体的な改善計画

・個々の目標が職員に周知できるように個別ファイルに添付する

3. 日常生活の支援

実施 日	令和6年	1月	9 日	(17:00	~18:00)

16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
前回の	課題について取り組めましたか?	1人	5人	6人	4人	16人

メンハ゛ー

前回の改善計画

・個別の表を作成し、「以前の暮らし方」10個を書き出す。

前回の改善計画に対する取組み結果

・「以前の暮らし方」の個別の表を作成し、利用者との会話の中から伺うことができたが、一人 10 個書き出せていない利用者もいた。

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1)	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?		4	9	3	1 6
2	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ 等の基礎的な介護ができていますか?	5	1 1			1 6
3	ミーティングにおいて、本人の声にならな い声をチームで言語化できていますか?	1	9	5	1	1 6
4	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	1 0	2		15 (無回答 1)
(5)	共有された本人の気持ちや体調の変化に即 時的に支援できていますか?	2	1 1	3		1 6

できている点

- ・本人の気持ちや体調の変化に気付くようにしている。(3)
- ・同じ内容の話でもしっかり聞いている。
- ・本人の状況や状態に合わせて対応ができている。(4)
- ・③は、ミーティングで改めてはいないが、その都度、相談したり、聞いたりして行っている。
- ・利用者の体調や要望などは、ミーティングや申し送りノート等で共有できていると思う。3
- ・話ができる時には、いろんな事を聞くようにしている。・個別の表を作成し以前の暮らし方を書き出す。

できていない点

- ・「以前の暮らし方」の把握は、出来ていない部分もある。(4)
- ・以前の話について会話できていても、書き残していない。
- ・本人の気持ちを理解したか分からなく、支援できないことがある。
- ・「以前の暮らし方」の個別の表を作ったが、一部の職員しか聞き取りをしておらず、利用者全員の聞き取りができていない。・チームでは動いていないように思うことがある。
- ・「以前の暮らし方10個」は初めて聞き、知らなかった。個人ファイルでしか見た事がなかった。
- ・ミーティングへの参加が出来ておらず、本人の思いの共有ができていない。(2)

次回までの具体的な改善計画

・令和5年度改善計画の「以前の暮らし方」の書き出しを継続し、職員間で共有できるように聞き取った事は記録に残し、生活支援に繋げる。

4. 地域での暮らしの支援

実施 _日	令和6年	1月	9日(17:00	~18:00)
メンハ゛ー			16人		

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	1人	9人	5人	1人	16人

前回の改善計画

- ・コロナ禍でも出来る行事に参加する。
- 「介護サービスと繋がったら地域の仕事は終わり」にならないように地域と細かい連携を継続する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・お寺さんに報恩講に来ていただいたり、地域のサロンへ参加したりすることができ、皆さんに喜んでもらえた。
- ・地域との連携を継続できるように、地域住民の方へ挨拶をしたり、話をしたりすることを心掛けた。

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係 等を理解していますか?		1 2	4		1 6
2	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れ ないように支援していますか?	1	9	5	1	1 6
3	事業所が直接接していない時間に、本人が どのように過ごしているか把握しています か?		9	6	1	1 6
4	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域 の資源等を把握していますか?		7	6	3	1 6

できている点

- ・報恩講やサロンへの参加。(3) ・地域住民へのあいさつ、会話。
- ・関係が切れないように家族等へも状況などを伝えている。
- ・訪問をすることで、どんな感じで過ごされているか、なんとなく理解できる。近所の方とか、教えていただける。(2) ・分からない事は、ご家族または、他の職員に聞くようにしている。
- ・本人の話を聞き、日々の生活の状況を把握するよう気を付けている。
- ・家に居る間の支援について、近所の方や親戚の方などと連携をとり支援している。
- ・ミーティング内容を確認したりして、家での過ごし方、関わり方等を把握するようにしている。

できていない点

- ・地域資源についての理解ができてない。(3)
- ・事業所が関わっていない時間に、どのように過ごしているか分からない利用者の方もいる。(3)
- ・地域の方や家族の方と事業所が関わっていない時間について話ができていない。(2)
- ・何か状況が変われば"事業所"としか思っていなかったので、民生委員までは思わなかった。
- ・本人からの聞き取りは、認知症のある方はなかなか正しくは把握できない。
- ・認知症により記憶があいまい。家族も同居の方が少なく把握されていないことが多い。
- ・利用者の人間関係を理解していない。・細かいところまではなかなか理解できない。

次回までの具体的な改善計画

・地域との関りや繋がりをアセスメントし、事業所だけで支援を行うのではなく情報共有できるよう普段から挨拶を行うなど支え合いが出来る支援を行う。

5. 多機能性ある柔軟な支援

実施 _日	令和6年	1月	9日(17:00	~18:00)
メンハ゛ー			16人		

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	7人	5人	3人	1人	16人

前回の改善計画

- ・柔軟な支援が提供できるよう普段から、本人、家族と連絡帳や電話を通して生活状況を把握しておく。
- ・緊急時に対応できるように平時の身体状態など職員間で周知しておく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・本人の希望、体調の変化などを連絡帳を通して家族に伝え、日頃の支援に繋げることができている。
- ・朝礼やミーティングで本人の状態の変化などを共有することに務めた。

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	自分たち事業所だけで支えようとせず、地 域の資源を使って支援していますか?	5	7	2	2	1 6
2	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥 当適切に提供されていますか?	6	8	1	1	1 6
3	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に 気づき、ミーティング等で共有することが できていますか?	4	8	3	1	1 6
4	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	1 0	1		1 6

できている点

- ・体調の変化や本人の希望をケアマネや連絡帳などを使って家族に伝える。
- ・家族、利用者のニーズに対応するため連絡帳を活用できている。
- ・本人に合わせて対応ができている。(2)・定員はあるが可能な限り提供している。
- ・通い、訪問等、本人や家族のニーズに合わせて行うことができている。
- ・敬老会や報恩講等、地域の方に協力して頂きながら行っている。
- ・家族の入院や大雨、大雪の日等は、緊急に泊まることができる。
- ・送迎時、状態に変化あればすぐに対応できていること。
- ・連絡帳を確認し、状態を把握するとともに、送迎の際、ご家族に状態を聞くように努めている。(2)
- ・配食弁当などの支援の提案により食の確保ができている。・記録を見て、共有するようにしている。

できていない点

- ・連絡帳では心身の状態など細かい変化を伝えられないことがある。
- 一人で連絡帳を記入し、情報が限られる。 ・自分で変化に気付きにくいことがある。
- ・これまで支援してきた対応をとり、柔軟に対応できていない時がある。
- ・他にどのような資源があるのか、分からない。
- ・前日の記録を見る時間がないため、前日にあったことが頭に入っていないことがあった。
- ・食事面での関りのみなので、なかなか希望通りにいかないところもある。

次回までの具体的な改善計画

・日々の関りや、生活の中で確認できたニーズを支援に反映できるよう職員間で申し送りやミーティング を利用して周知する。

6. 連携·協働

実施日	令和6年	1月	9日(17:00	~18:00)
メンハ゛ー			16人		

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	1人	7人	6人	2人	16人

前回の改善計画

・地域包括支援センターがどのような役割を持っているか内部研修を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

・研修や会議資料などで地域包括支援センターについて学ぶことができた。

◆今回の自己評価の状況

	7. 7. — N.							
	個人チェック集計欄		なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)		
1	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	6	4	3	16 (無回答 2)		
2	自治体や地域包括支援センターとの会議に 参加していますか?	1	3	6	4	16 (無回答 2)		
3	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦 人会、消防団等)の活動やイベントに参加し ていますか?	1	6	5	3	16 (無回答 1)		
4	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民 が事業所を訪れますか?		7	4	4	16 (無回答 1)		

できている点

- ・研修などで地域包括の取り組み、役割を学ぶ。・リモートでの研修に参加。
- ・できる範囲で他の機関と関われている。
- ・職場体験や敬老会などの行事に参加できている。
- ・今年度から地域の中学生のキャリアウィークが再開し、事業所でも受け入れている。
- ・地域活動には、なるべく参加し、地域の方と会話するようにしている。(3)
- ・コロナなどの感染症がある内での訪問は、なかなか難しくなっているが、ボランティアの方に週1回来 てもらっている。 ・年末に報恩講を行い、地域のお寺さんに来てもらっている。
- ・会議等には、所長、生活相談員の参加は出来ている。
- ・会議の資料等を読んで、内容を確認している。(2)
- ・イベント等には、なかなか出席できないが、休日等、時間がある時には、参加する。

できていない点

- ・地域包括支援センターの役割を理解しきれていない部分がまだある。
- ・活動、イベントへの参加(2) ・まだ、地域住民との関りがあまりできていない。
- ・業務上、他サービス機関、他事業所と関わることがない。(2)
- ・会議に参加していない。(3)

次回までの具体的な改善計画

・ボランティア等の受け入れを行い、開かれた事業所になるよう地域住民に知って頂く。

令和6年 1月 9日 (17:00 ~18:00)

メンバー

実施

日

16人

7. 運営

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人	チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
前回の課題は	こついて取り組めましたか?	5人	11人	人	人	16人

前回の改善計画

・要望、苦情、問合せなど、運営に反映できるように、関わった職員は確実に「申し送り」に記入する。

前回の改善計画に対する取組み結果

・職員全体で改善計画を意識していることで、「申し送り」ノートを活用し、報告、記録などを行い、情報 共有し、日々の支援に反映できるよう努めている。

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄		なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	事業所のあり方について、職員として意見 を言うことができていますか?	2	8	6		1 6
2	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	1 2	1		1 6
3	地域の方からの意見や苦情を運営に反映し ていますか?	2	9	3	2	1 6
4	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていま すか?	2	5	7	2	1 6

できている点

- ・報告、記録などしている。(2) ・申し送りノートを活用している。常に確認している。
- ・前回の改善計画については、全職員が意識できている。
- ・家族との会話などの関わりは、他の職員と共有している。
- ・朝礼やミーティング等で情報共有できている。
- ・利用者や家族からの意見、地域の方からの意見は、なるべく反映できるようにしている。
- ・意見等言われた事は、誰か(上司)に報告、相談するようにしている。(2)
- ・要望等聞くと必ず上司に伝え、なるべく要望に近い支援を行っていると思う。(2)
- ・苦情等、聞き取りを行い、改善するようにしている。
- ・自分の考えや意見を言うことができる。

できていない点

- ・地域と協働した取り組みはできていない。地域と積極的に関われていない。
- ・地域と関わることがないので、わからない。
- ・入職したばかりなので色々思う事あるが、伝えていないことが多々ある。時々伝えるも「あ~」で終わることが多く言えなくなった。
- ・意見を言うことができない。

次回までの具体的な改善計画

・苦情や意見を頂いた場合、改善した事や対応方法を職員間で共有し、改善後の支援を確実に提供する。

8. 質を向上するための取組み

実施 日	令和	6年	1月	9日(1	17:00	~18:00)
メンハ゛ー				16人			

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック集計欄		なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	2人	11人	2人	1人	16人

前回の改善計画

- ・ヒヤリハット報告を利用して事故防止の研修を行う。
- 介護職員が町内研修に参加する。

前回の改善計画に対する取組み結果

・ヒヤリハット報告書を確認することで、職員一人ひとりが事故防止に努めることができている。

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	1 0	2	2	1 6
2	資格取得やスキルアップのための研修に参 加できていますか		9	5	2	1 6
3	地域連絡会に参加していますか		2	9	5	1 6
4	リスクマネジメントに取組んでいますか		9	6	1	1 6

できている点

- ・ヒヤリハットを上げていく。・ミーティングで事例を検討する。
- ・朝礼、ミーティングなどでヒヤリハットの報告、共有。
- ・参加できる研修には、参加できている。(4)
- ・研修には参加していないが、ヒヤリハットや事故報告として共有できている。
- ・ヒヤリハット報告書を確認し、報告件数の多い利用者に対して、歩行状態や動作等を意識的に観察するようにしている。(2)
- ・研修には参加できていないが、資料を確認することで振り返りができている。(2)
- ・ヒヤリハット報告書を確認し、その時の状況などを確認している。
- ・食事面でのヒヤリハットがないように心がける。

できていない点

- ・リスクマネジメント、災害対策・地域との関わりがあまりできていない。
- ・全員が研修に参加できていない。 ・研修に参加できていない。(3) ・研修が、あまりない。
- ・仕事で忙しく、なかなか勉強できない。・研修の行われる時間の参加が難しい。
- ・研修が行われる日時が分からない。
- ・地域の連絡会には、参加していない。(2) ・スキルアップの研修は参加できていない。2

次回までの具体的な改善計画

・課内研修には職員全員が出席する。

9. 人権・プライバシー

実施 日	令和6年	1月	9日(17:00	~1:00)
メンハ゛ー			16人		

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	7人	8人	人	人	16人 (無回答 1)

前回の改善計画

- ・拘束、虐待防止の取組みを継続して行う。
- ・介護負担が大きくなっている家族には、密に連携を取り、虐待等に繋がる事が無いように職員で 連携して取り組む。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・虐待に対する取り組みとして、毎朝礼時に虐待に関する事項を確認することを継続している。
- ・家族とは、電話や連絡帳などを通して、状況の把握を行い、介護負担を軽減するために、通いや泊りを調整することができている。

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	身体拘束をしていない	1 2	3			16 (無回答 1)
2	虐待は行われていない	1 0	5			16 (無回答 1)
3	プライバシーが守られている	9	5	1		16 (無回答 1)
4	必要な方に成年後見制度を活用している	3	3	1	4	16 (無回答 5)
(5)	適正な個人情報の管理ができている	8	6	1		16 (無回答 1)

できている点

- ・家族の変化があれば報告、相談。 ・朝礼で毎回、確認している。(3)
- ・事業所全体で利用者を損なうような介護をしないように心がけていると思う。(3)
- ・身体拘束は家族の話を聞いても思い当たることがないように思える。(2)
- ・利用者様の要望は、可能な限り応えるよう努力している。
- ・利用者様が多くいる場所では、他者の情報を発信しないよう努めている。
- ・トイレ介助など転倒などの危険がない時は、トイレの外で待機するようにしている。
- ・介護負担を少なくするために、通いや泊りなど調整している。
- ・ファイルなど必要な時以外は出さないよう心掛けている。

できていない点

- ・個人情報の管理があいまいな時がある。・大きな声で話してしまうことがある。
- ・成年後見制度を分かっていない。(2)
- ・身体的な虐待より言葉の虐待をしているのではないかと思っている。(2)

次回までの具体的な改善計画

個別ファイルが出したままにならない様に、通所終了後、宿泊後にはロッカーに収める。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 安芸太田町社会福祉協議会	代表者	藤井幸穂
事業所名	小規模多機能型居宅介護事 業所「ふれあい」	管理者	山下真樹子

法人・ 事業所 の特徴 当事業所は診療所の2階に併設されており、医療と連携した高齢者介護を一体的にサポートしています。近所には役場、公園、図書館、ふれあいセンター、お寺が4か所と周辺の環境にも恵まれ、有効に資源を活用することができます。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団 体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	0人	1人	0人	1人	3人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結 果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	事業所評価や資料を作成する時に伝わりやすいよう具体的に記入する。	・自己評価は職員全員で実施出来た。設問について自己評価が難しい事があり、ミーティング時などを利用してどう解釈して良いか職員間で話しが出来た。 ・事業所評価の前に事業所の見学、説明を行ったが十分な説明が出来なかった事を反省している。 ・事業所評価して頂くにあたり、答えやすい資料作りを来年度の事業所評価時までに作成したいと考えています。	・皆されるない。 ・皆されるなどではいい。 ・皆されるなどではいい。 ・おられるなどではいい。 ・おられるなどではないいい。 ・などではないいい。 ・ののもいいででしたがいいででしたがいいででしたがでいる。 ・現ようが正しいながらいいがいかでしたがいいででしたがいいではいいがいいででしたがいいではいいがいい。 ・現ようが正しながいいではいいがいい。 ・現ようが正しながいいではいいがいい。 ・現ようが正しながいいではいいがいかではでいたがいのでははないいのでででしたがいのではないがいいではないがいいではいいがいい。 ・ではもいいがはにいいいではでいたが、対けないがは、 ・ではないいいはにはいいがいが、ではながいがは、 ・ではないいいはにはいいがいなが、はないが、 ・ではないいいは、 ・ではながいいいでは、 ・では	・改善計画を職員が目に付く場所へ掲示し普段から意識して業務に取り組む。

B. 事業所の しつらえ・環境	継続して感染症予防を継続的に取り組む。 消毒(一日2回) 換気(2時間毎) 令和5年5月に新型コロナが「5類 感染症」になった時に、施設の開 放、自動ドアの解除を行い開かれ た施設になるように工夫する。	・感染予防は継続して行えた。 消毒…昼、夕 換気…10時、12時、14時、16時 ・5月以降は自動ドアを開放し、面会や 来客者には手指消毒、検温をして頂いた。 ・職員は出勤前の健康チェックを継続 している。 ・マスク装着を継続中。 ・ディルーム内に洗面台2台設置出来 た(車イス対応可能)。来所時に手洗い をスムーズに行えるようになり感染症 予防が出来ている。	・問題ないと思います。・努力されていると感じました。・明るく快適な空間になっています。・大雪の時の雪掻きお疲れ様でした。・玄関のカギについては、自分で確認していなかったのでよくわかりません。ただ敷居が高いというイメージはあり	・衛生管理を行い、感染症予防に 取り組む。・ディルームのテーブル2台買換 える。
	以前参加していたサロンへの参加を再	・サロンには参加可能な利用者は出来	の内容については全てクリアーされていました。・明るい職場になっていると思います。	・サロンへの参加を継続する。
C. 事業所と地域の かかわり	開する。 季節の行事(敬老会、報恩講等)を行う時に家族へ参加の声掛けを行う。	た。 ・敬老会、報恩講など3年ぶりの開催となり、通所介護事業所と合同で行事が出来た。 ・地域の行事に参加する事が出来ていない。 ・地域の行事に利用者が参加される日には送迎支援を行った。	・地域の方に何らかの取り組みをもって、実際の介護現場の見学する企画をされてはいかがですか? ・具体的に数値を示されると良いと思います。 ○件相談を受けた ○回地域行事に参加した等 ・無理にない範囲で且つ具体的に「この	・ディサービス、小規模多機能ひまわりと継続的に交流する。 ・地域行事参加の回数の報告を行う。

・利用者と地域との関わりが途切れな 行事については…」と決めて動くのはいように普段の様子を伝える事が出来いかがでしょうか。た。 ・挨拶は気持ち良く伝わってきます。 ・利用者の家族と連絡は密に行ってお	
た。・挨拶は気持ち良く伝わってきます。	
られます。	
・研修を行い、学び深められ、頑張って	
おられます。	
・臨機応変に対応していただき、家族と	
してはとても助かります。	
・スタッフが地元の行事に地域住民と	
して参加する事は可能だと思います	
が、利用者の居住地域と言うのは難し	
いのではないでしょうか。	
・地域に出かける、地域から来て頂く、	
それぞれ工夫しながら取り組みが進め	
られていると思います。	
・スタッフの皆さんにはとても良くし	
て頂いています。	
・地域に出掛ける事は難しいかもしれ	
ませんが、今後も色々な方々と交流で	
きる場を設定していただくと当人への	
刺激となって良いと思います。	
・地域支援センターがどのような役割	
を持っているか内部研修を行っては。	
地域の困り事の相談を受けた際、自事業 ・近隣住民や民生委員から利用者以外 ・5類に移行したからとはいえ、まだま ・利用者が	地域で一人にならないよう
所だけで判断するのではなく、社協居 の相談を受けた場合は包括支援センタ だ感染がなくなった訳ではありませ に民生委員、	近隣と情報交換を行い、自
宅、包括支援センターと連携し、解決に 一へ連絡し訪問などの依頼をして何ら ん。これまで同様、予防対策をしっかり 宅での生活を	を支える。
繋がる支援を多職種で検討する。 かの支援に繋げる事が出来るよう連携 行い地域支援センター1階部分等を利 ※助け助け	られる関係の継続
を行った。情報提供して下さった方に 用して地域交流会など進めてはいかが ※昔馴染みの	のお付き合いのお手伝い
利用者が望む暮らしを支える事が出来 対しても経過を報告した。	出掛けプラン」のお手伝い
るよう近隣住民と情報交換を行う。 ・地域との関係が途切れない様に家族 ・人は必ず老いると言う事を見て理解	
等へも状況などを伝えている。 していただく為にも、地域との関りを ・地域支援・	センターで開催される行事
D. 地域に出向いて ・訪問する事で、どんな過ごし方をされ 多く持つ事が必要だと思います。 に参加する。	
- アルスかが理解できる	
本人の暮らしを・在宅時間の支援について、近隣や親戚をされる方が良いのではないでしょう	
支える取組み の方と連携を取り支援が出来ている。 か?	
・ミーテイング内容を確認し、家での過 ・コロナ禍でも出来る行事へ参加され	
ごし方、関り方を把握するようにして 利用者が喜んでおられます。	
いる。・サロンへの参加等で地域と交流が続	
いて行くと良いですね。	
・地域に出掛けて本人を支える仕組み	
を作ると言うことはよくわかります	
が、限られたスタッフの中で展開する	
ことはなかなか難しいのではないかと	

			思います。 ・他機関と連携しながら進められてい ると思います。	
			・近隣の皆さんで支えあうと言う事は 今後さらに必要になると思います。そ	
			れを事業所のスタッフに背負っていた	
			だく事はとても負担を掛けるような気	
			がします。包括的な組織として支えあえる仕組みの中に、事業所としての関	
			りがあれば良いのかと思います。	
			・「介護サービスと繋がったら地域の仕	
			事は終わり」にならないように地域と細かい連携を継続して欲しい。	
	■ 委員さんに事業所内の見学をして頂き、	・運営推進会議にて事業所の利用状況		・利用者が減少傾向になっている。運営
	利用者の施設での過ごし方を見て頂く。	や活動の報告を行った。	協議するのは難しいと思いますが、次	
	東米ボベ却をイルフ明瞭をリマルカノ	・コロナ禍が過ぎ、委員さんに施設内の		広報活動を行う。
	事業所で起きている問題をリアルタイムで相談、報告し助言を頂く。	見学をして頂けた。 ・消防計画書を配布し内容の確認をし	を伺う」など事前告知するのも有りかと思います。	・情報発信を工夫する。
		て頂けた。	・小規模多機能他、社会全体で事業所の	※LINE 友達登録試行
		・運営推進会議にて頂いた意見を朝礼、		
		ミーティング時に職員に伝えた。 ・行事の時に委員さんへ参加のお願い	がる取り組みを考えてやってみましょ	
		が出来なかったので、来年度は参加の		
		お願いをする。	方が老いの最期まで尊厳をもって楽し	
			く生きられるよう、このお仕事の重要	
			性を肌に感じて出席させて頂いています。	
D 72.77.14.74.4.24.4			● ・前向きに取り組んでおられると思い	
E. 運営推進会議を			ます。	
活かした取組み			・運営推進会議で色々な話しを聞く事	
			ができ、地域の現状を知る事が出来ました。	
			・いつも状況を丁寧に説明していただ	
			いています。それぞれ異なった状況の	
			方を介護して頂き、大変さと重要さを	
			痛感しております。 ・色々な立場の方が聞かせて頂くこと	
			により、地域の情報を提供できる場に	
			もなっているのではないかと思いま	
			す。 ・日常的に施設内に入る事はないので、	
			見学できる機会を設定していただいた	
			事により身近に感じる事が出来ます。	
			・会議に参加させて頂く事により、委員	

F. 事業所の 防災・災害対策	AED を使った訓練を行う。 施設の消防計画を委員さんに見て頂く。	・消防計画を委員さんに見て頂けた。 ・3/12(火)生活支援ハウス入居者と合同で AED 講習を受ける事が出来た。 ・AED 講習を職員が全員受ける事が出来るように継続的に取り組みたい。 ・年2回の消防訓練は実施出来た。	として、一家族として、地域において事業所の広報等、役に立つ事ができればと思います。 ・小規模多機能の活動も皆さん頑張っておらればと思う気持ちで応援しています。 ・消防避難難いと思います。 ・事業所のは悪います。 ・事業所のは悪います。 ・事業所のは悪います。 ・事業所のは悪います。 ・事業所のは悪います。 ・事業所のは悪います。 ・事業所のは悪います。 ・事業所のは悪いなくて逆にかりの講習をしっかり受ければベストですね。 ・計画は年度初め、又は終わりに中味を点検単訓練等、防災教育は実施されている、災害時にない。・災害時にない。・災害時にない。・災害時にない。・が災害時にない。とされるところです。 ・AEDの訓練状況はよくわかりません。 ・消防計画については情報共有して頂きよしる。 ・特に夜間の火災等対応についても、しっかり想定した取り組みをお願いします。 ・年2回の自衛消防訓練	 ・年2回の消防訓練 AED講習 夜間想定の避難訓練 ・委員さん、地域の方へ参加のお願いをする。
--------------------	--------------------------------------	--	--	--